

停電時のシステム起動方法

- 太陽光による発電がなく、蓄電池からの電力供給もなく、かつ、EVが接続されていない状態（V2Xスタンドの充放電コネクタがアンロック状態）で停電が発生すると、電源が無くなるためシステムが停止します。この場合には、「アクセサリケーブル※を用いてEVから給電する」方法でシステムを起動（運転開始）する必要があります。これを「停電時起動」と呼びます。

※アクセサリケーブルはV2Xスタンドの商品に同梱をしています。

<システム起動不可の車種に関するご注意>

下記の「対応車種一覧」で、停電時のシステム起動方法が「不可」の車種は、停電時にEVによるシステムの起動ができません。ご注意ください。

[産業用蓄電システム単相連系タイプ\(V2X対応\) : 対応車種一覧](#)

- 停電時起動の際のEV側の設定については、EVの取扱説明書をご確認ください。
- EVの電力でのシステム起動方法の説明
 - ・次ページ以降に記載の 手順1から手順6の順に行ってください。

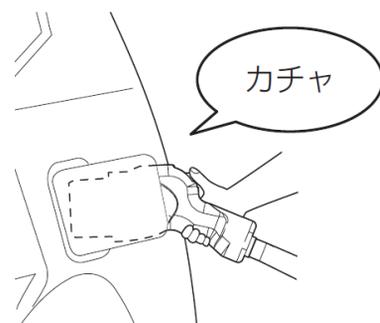
EVの電力でシステムを起動する

太陽光による発電がなく、蓄電池からの電力供給もなく、かつ、V2Xスタンドの充放電コネクタがロックされていない状態(アンロック)で停電すると、システムが停止します。

このようなときは、アクセサリケーブルを用いてEVから給電することで、システムを起動できます。これを「停電時起動」と呼びます。

1 EVの給電口に 充放電コネクタを差し込む

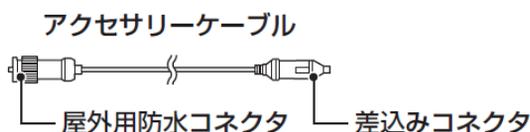
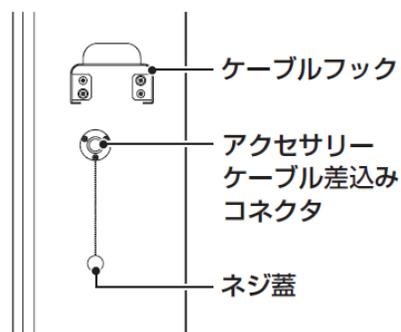
詳しい接続方法は10ページを確認してください。
既に充放電コネクタがEVに接続されている場合は、
手順2へ進んでください。



2 本体右側面にあるアクセサリケーブル 差し込みコネクタのネジ蓋を外し、 付属のアクセサリケーブルを差し込む

ネジ蓋は反時計回りに回して外してください。
アクセサリケーブルの屋外用防水コネクタ側を差し込んでください。

本体右側面



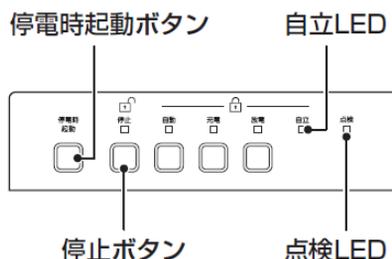
- 雨天時などは、アクセサリケーブルのコネクタ(屋外用防水コネクタおよび差し込みコネクタ)に水分が付かないようご注意ください

3 アクセサリケーブルの差し込みコネクタをEVの 電源ソケットに差し込み、EVのソケットスイッチをONにする

アクセサリケーブルはEVの窓に通してください。
電源ソケットの位置、アクセサリケーブルの差し込み方、およびソケットスイッチの
位置・操作方法については、EVの取扱説明書をご確認ください。

4 操作部の停電時起動ボタンを押す

EVからの放電が開始されるとV2Xスタンドが起動し、自立LEDが赤色に点滅します。



- 点検LEDが点滅している場合は、停電時起動を実施できない場合があります。停止ボタンを5秒以上長押しして点検LEDの点滅を消してから、再び停電時起動ボタンを押してください。それでも実施できない場合は、EVのソケットスイッチをOFFにし、アクセサリーケーブルを取り外して、V2XスタンドのLEDが消灯するまで(3分程度)待ってから、やり直してください。

5 自立LEDの点灯(赤色)を確認したあと、EVのソケットスイッチをOFFにし、アクセサリーケーブルを取り外す

システムが起動し、ネットリモコンで操作可能になります。

停電中は自立運転を行います。

自立運転の詳しい説明はパワーステーション取扱説明書28～34ページをご確認ください。

- EV側の電力(補機バッテリー=12Vバッテリー)を消費しますので、起動後はEVのソケットスイッチをOFFにし、アクセサリーケーブルを取り外してください。

6 アクセサリーケーブル差込みコネクタのネジ蓋を確実に閉める